

震災のつめ跡



線路陥没(大広田)



住宅裏の崖崩壊(四日町)



屋根から落ちた瓦の山(東条)



行き場を失った電車



蔵も無残な姿に(東条)



全壊の大和屋さん(大広田)



不思議と車は無傷?(大広田)



11月4日の余震でコミュニティ体育館外壁も崩落寸前

北条診療所
中野先生に感謝!

四十分足らずの間に震度六クラスの地震が三回続いた中越地震。そして、余震のたびに増える避難者。ライフラインが全て寸断されたことを知った避難者の一人が、「今日は土曜日診療所の先生はいないから、こんな時に病人がでなければいいけど」と言った言葉が、周囲の人たちの不安を一層募らせました。ところが、数時間経った夜中、投光機の明かりに中野先生の姿が映し出されたのです。「まさか」の出来事が起こったのです。お話によると、先生は奥様と所用先の長岡からタクシーで危険を覚悟で駆けつけてくださったそうです。その後のお休みも地域住民の健康を気遣い、新潟の自宅にはお帰りになりませんでした。また、心温まるお見舞いまでいただき、感謝の念に堪えません。北条地区に診療所があることは大きな財産ですが、まさに私たちの「赤ひげ先生」そのものです。

地域のための消防団

分団長 村山 隆一

このたびの中越地震で被災された皆さまに謹んでお見舞いを申し上げます。さて、市内の中でも特に被害が大きい当地区は、地震発生直後からの停電や道路寸断等により十分な連絡体制がとれず、消防団としても各町内の被害状況を把握するのに苦労しました。しかし、そんな状況の中でも、各班長はじめ団員の方々が自主的に出勤し、道路警備、住民の避難誘導、危険箇所の警備等々、多方面にわたり活動してくれました。皆さんにも仕事や家庭がある中で、長時間の出勤、大変ご苦労をおかけいたしました。また、地区の皆さまからも消防団にいろいろご協力いただきましたことを感謝申し上げます。ありがとうございます。今後、「北条地区は自分たちの手で守る」をモットーに、消防団員一丸となって頑張る所存ですのでよろしくお願い申し上げます。